特別支援教育

　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年度　**埼玉県教育局西部教育事務所**

**安心感が学びを支えます。**

*\_\_ 支援のポイント \_\_*

　授業の中で　　　　　　　　**思い切った 焦点化を**

**めあてや流れの視覚化を**

　　　　　 矢印等を活用し、目的意識を持てるように。

**一目で分かる板書を**

色や文字の大きさを工夫し、量を少なく。

**子どもがイメージできる教材を**

日常生活と結びつく実物・写真・イラストを。



　　　　本人へ

**自分で決める場面を積極的に**

　　　　　　　　枠の大きさを選べるプリント等を用意する。

**自信が持てるように**

　　適切な言動に注目し、ほめ続ける。

**存在感を持てるように**

　　　　　　　　　関心の強いものや特定の知識を生かす。

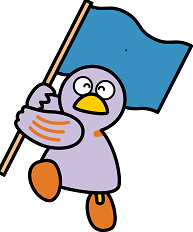
　　　　 学級では

**教師が関わり方の手本を**

相手の気持ちを考える学習を。

**沈黙でメリハリを**

「静」の確保で「動」を生き生きと。

　　　　 **友達のよさを認め合う**

　　　　　　得意なことを伸ばす「分業化」を。

　　　　教室環境

**座席位置の工夫を**

　　　　　　特性に応じて、教師の近くや窓から離れた前方の席に。

**掲示物はシンプルに。**

　　　　　　持ち物は棚や箱等を利用して、整理整頓しやすいように。

　　　　保護者に対して

**「今日の様子」の共有を**

　些細な表情も伝え合う関係づくりを。

**外部機関等の情報提供を**

　　　結論を決めつけず、保護者と一緒に考えていく姿勢を。



**「チーム学校」**の実現　 **「優しい職場づくり」**を